

保存科学研究集会 2019
「遺跡保存に関する最近の動向」

令和2年3月13日(金)

奈良文化財研究所 平城宮跡資料館講堂

プログラム

3月13日(金)

9:30～

受付開始

10:00

開会挨拶

◆研究発表

10:10～10:55

旧甲子園ホテルの外装材として使用される
凝灰岩の保存に関する研究

宇野 朋子

(武庫川女子大学)

10:55～11:40

材料の表面撥水処理による劣化抑制の可能性
－トルコ・カッパドキアの岩窟教会を例として－

伊庭 千恵美

(京都大学)

11:40～12:25

外壁面での気生藻類の生育に関する研究
藻類生育と周辺環境条件との関係および
生育防止策の検討

中嶋 麻起子

(神戸大学)

12:25～13:50

昼休み

◆研究発表

13:50～14:35

土遺構の露出展示保存における環境制御に
ついて

脇谷 草一郎

(奈良文化財研究所)

14:35～15:20

国指定史跡高瀬石仏の保存環境予測と
整備事業評価のための一連の研究

安福 勝

(近畿大学)

15:20～15:40

休憩

15:40～16:25

結露が古墳壁画に及ぼす影響に関する基礎
研究

犬塚 将英

(東京文化財研究所)

16:25～17:10

古墳の保存のための環境調整について
－装飾壁画保存のための環境設計と地震
被災後の一時的対策の検討－

小椋 大輔

(京都大学)

17:10

閉会